定期試験対策問題　解答・解説

第1編　言葉のきまり

第1章　文法の基礎（32〜33ページ）

1
(1) 生まれて／育った／町を／後に／した。
(2) 松本君は／席から／きれいな／夕日を／見て／いた。
(3) マラソンランナーが／ふらふらに／なりながら／ゴールした。

1
(3)「ゴールした」は、複合語「ゴールする」に助動詞「た」がついたもの。

2
(1) イ　(2) ア　(3) ウ　(4) エ　(5) ア
(6) オ　(7) イ

3
(1) a エ　b イ　c オ　d イ　e ア
　　f ウ　g イ
(2) a エ　b オ　c ア　d ア　e イ
　　f イ　g イ

4
(1) 姉は　(2) 急行列車が　(3) 君こそ

4
(3)「君こそ」の「こそ」を「が」に言いかえて「君が〜ふさわしい」とすることができる。

5
(1) 彼の作品を
(2) 展望台に続く坂道を
(3) 大きな犬に向かって
(4) 軽やかに踊る人々を

5
(2) 主語は「彼女は」で、述語は「登っていった」。「展望台に続く」は「坂道を」を修飾していて、「展望台に続く坂道を」で連文節として修飾部になっている。

6
(1) 県大会での優勝
(2) 体調がすぐれないので

6
(1) 独立部で、提示の役割をもつ。
(2) 接続部。「ので」とあるのがポイント。

7
(1) ア　(2) エ　(3) オ　(4) イ　(5) ウ

8
(1) ウ　(2) イ　(3) ア

8
(1) 文全体の主語（「僕は」）が省略されている。

第2章　単語の分類（52〜53ページ）

1
(1) 鉄橋を渡る列車の音がかなたから響いてくる。
(2) 爽やかな風が吹いて、秋が訪れた。
(3) 休み時間には、友達とおしゃべりをする。
(4) 他人の気持ちを想像しようとする気持ちがなければ、優しい人間にはなれない。

1
(3)「休み時間」は複合語で一単語。
(4)「想像し」は「想像する」という一語の動詞。

2
(1) a ク　b エ　c コ　d エ　e ウ
　　f ア　g ケ
(2) a カ　b オ　c イ　d キ

2
(1) a は感動・応答・挨拶・呼びかけ・かけ声を表す感動詞。ここでは呼びかけを表す。b は場所を指し示す代名詞。代名詞は名詞の一種。c は前の語句が引用であることを表す助詞。d は物事を表す名詞。e は状態を表す形容動詞。「急だ」「急な」と形が変化する。f は動作を表す動詞。g はほかから動作・作用を受ける意味をつけ加える助動詞。
(2) a は連体修飾語になる連体詞。「人は」を修飾している。b は連用修飾語になる副詞。「たくましく」を修飾している。c は性質を表す形容詞。d は文節どうしをつなぐ接続詞。

3
(1) イ　ウ　エ　オ　キ〈順不同〉
(2) ア　オ　カ〈順不同〉
(3) ア　ウ　オ〈順不同〉

3
(1) オの「ない」は助動詞。
(2) ア「つぶらな」は形容動詞。ウ「小さな」は連体詞で活用がない。
(3) ア「きれいに」は形容動詞。オ「ある」は動詞。

4
(1) 昨日は早起きをして、この春新しくできたテーマパークまで家族で出かけた。とてもはなやかなパレードや不思議な乗り物があり、父も驚いていた。
(2) する　新しい　できる　出かける
　　はなやかだ　不思議だ　ある　驚く
　　いる

4
(1)「早起き」は、「早い」という形容詞と「起きる」という動詞が結びついてできた名詞。